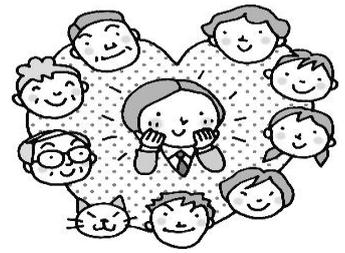


令和7年度 地域学校保健委員会だより



令和8年1月14日(水)に、『令和7年度志木第二中学校区地域学校保健委員会』が開催され、志木第二中学校区(志木第二小学校・志木第四小学校・志木第二中学校)3校の保護者・教職員・生徒(志木第二中学校保健委員会)、志木市教育委員会が参加しました。

地域学校保健委員会のテーマ:『子どもたちの心と体の健康を考える』～学校・家庭・地域の協力～
今年度のテーマ:「包括的性教育」について考えていきましょう!

***包括的性教育:**身体や生殖の仕組みだけでなく、人間関係や性の多様性、ジェンダー平等、幸福など幅広いテーマを含む教育のことを言う。従来の性教育よりも大きな視点で「性」や「らしさ」を問直すもの包括的性教育

1 令和7年度 志木第二中学校区定期健康診断の結果 志木第二中学校 養護教諭

○体格(身長・体重)

身長と体重が全国平均よりも上回っているのは、男子の小2・小6・中1で、女子の中1です。身長18項目中で上回っているのは男女併せて10項目。体重18項目中6項目です。

○歯科

未処置者の割合が小学生 11.3%、中学生 3.0%です。令和6年度全国学校保健統計結果(未処置者)小学生:32.9%、中学生:26.5%に比べると大変低く、素晴らしい結果がでています。歯科医院に定期検診に行っていたりご家庭の協力や、志木市の取り組みが予算化され、「毎週1回のフッ化物洗口」、埼玉県歯科衛生士会と連携した「歯科衛生士による専門的な立場からの歯科保健指導」の実施が反映されています。しかし中学校では、永久歯の根管治療をしている生徒が数名おり、早期受診を促していきたいです。

○視力

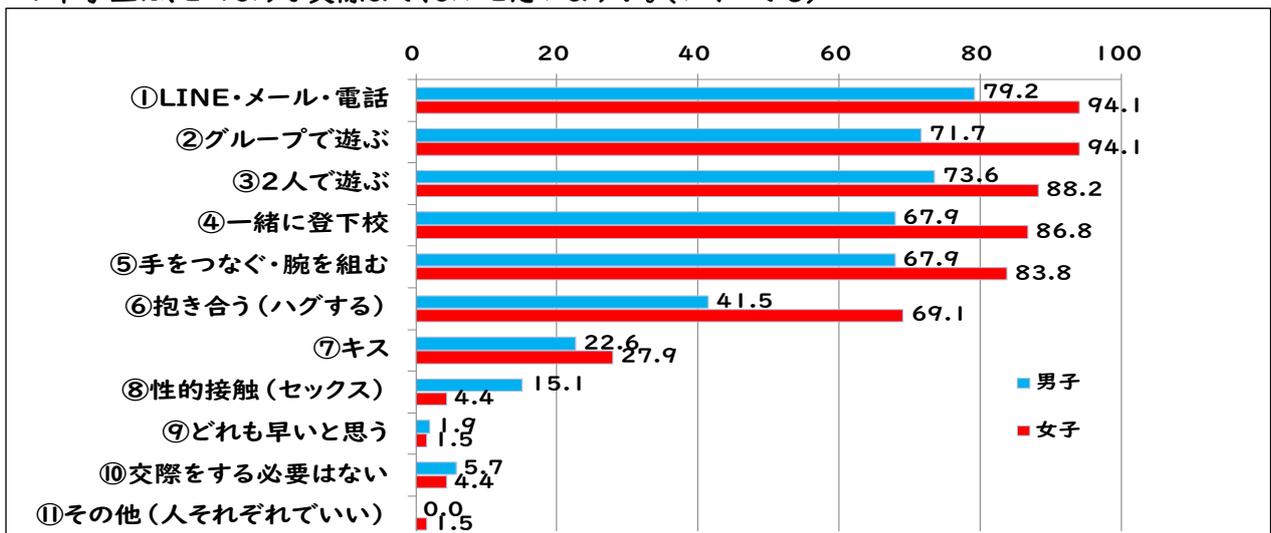
令和6年度全国学校保健統計結果(1.0未満)小学生:37.8%、中学生:60.9%、高校生67.8%で過去最大となっています。全国平均と比較すると、志木第二中学校区の小・中学校は、裸眼視力が1.0未満の児童生徒が多く、視力低下は深刻です。文部科学省は「スマートフォンやデジタル端末を使う時間が増えたため」と分析しています。学校では、タブレット等のICT教育が進む中で、目の休息の取り方、校庭に出て外で活動する時間を確保する等を見守る生徒に呼びかけ、促していく必要があると考えられます。

2 児童生徒保健委員会発表 志木第二中学校保健委員会

中学2年生 思春期講座「見つめようココロとカラダ」事前アンケート集計結果について

(R7年12月に実施 2年生徒121人回答)一部抜粋

*中学生は、どのような交際まで、よいと思いますか。(いくつでも)



3 講話 『包括的性教育～性教育は「幸せになるため」の学び～』

講師 埼玉県助産師会 助産師 櫻井裕子 氏

櫻井裕子 (通称おかみ)

産前産後訪問・養育支援訪問
(2市で) 出産準備クラス講師
看護・助産専門学校
非常勤講師 (計3校)
性犯罪加害者臨床で性教育実践中

助産師
さくらい助産院開業
(出張専門)

(包括的)性教育実践歴25年
年間100回以上講演
(2025年は180回)

X (旧Twitter) ⇒ 「おかみ」
Instagram ⇒ sanba-okami1995
ブログ ⇒
性教育とぼんずともろみ



8つのキーコンセプトを
4つの年齢階級で
スパイラルに学ぶ

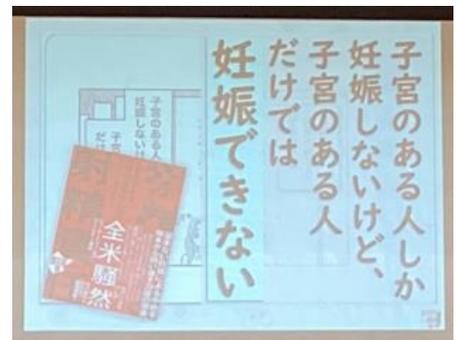
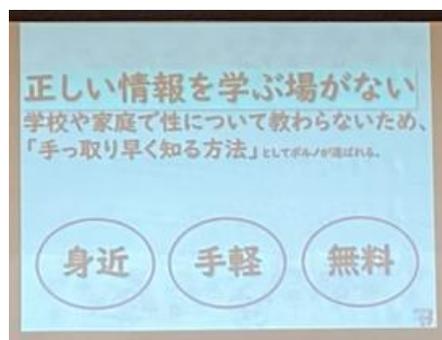
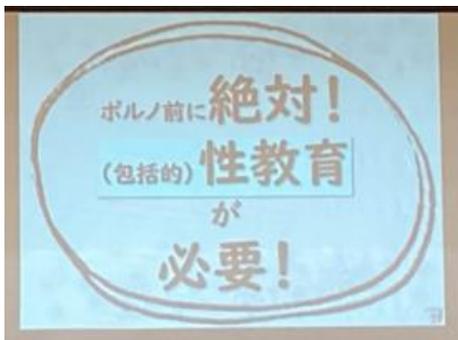
【包括的性教育の効果】
※批判/疑問視もあり
初交年齢の遅延
性交頻度の減少
性的パートナー数の減少
リスクの高い行為の減少
コンドーム使用の増加
避妊具使用の増加



国際セクシュアリティ教育ガイダンスが
全文読めます。

<https://sexology.life/world/itgse/>





【参加された方の感想】

- ・小学校のうちから「包括的性教育」を学ぶことが必要だと感じました。家庭でも小さいうちから日常的に語れる関係性を築きたいと思います。まずは耳を傾けることからですね。
- ・櫻井先生のお話は、具体例が多くとてもわかりやすく参考になりました。アンケートで今の中学生がどのように考えているかよくわかりました。
- ・2年生の授業参観から見せていただき、難しいテーマをととてもわかりやすく説明していただき勉強になりました。今の子どもたちの情報収集にネットは不可欠で、アクセスは容易です。今でも性の入口がAVというのは、日本の性教育の弱さを感じました。少しでも良い教育が子どもたちに受けてもらいたいです。先生の講演を自分の子どもに早く聞いてもらいたいです。
- ・小学1年生の母親ですが、今回自分自身が性のことについて「恥ずかしいこと」等と思ってきたので正しい情報を知る機会と思って参加しました。子どもと共に正しい情報を知りながら、色々と考えて行きたいと思う良い機会でした。
- ・とてもよい講話でした。正しい知識を身につけるサポート、誤った知識を分別できるようにすること、とても難しいと感じました。自分の時代は情報不足、今の時代は情報飽和、管理したいわけではないけれど性においては傷をつくってほしくない一心です。自分も改めて学ぼうと思いました。
- ・二中の保健委員会の皆さんの発表も、櫻井先生の講演も、思春期に突入している子を持つ親として、対応もさることながら、自分自身の受けた性教育をアップデート出来る良い機会になりました。性教育と聞くと「恥ずかしい事だから余り触れない様にしよう」という考えの方もいらっしゃるのではないかと思います。それこそ無責任な事なのだと感じました。この様な機会は、思春期になる子供達もですが、もっと低学年の頃から、当たり前の様に知識として知っていれば、身体や心の変化に戸惑ったり不安になった時に、もっとオープンに話せるのではないかと感じました。そして、保護者である私達も、我が子を性加害者や性被害者にならない為にも、櫻井先生のような方のお話を聞く機会を参加必須としても良いのではないかと感じました。